

2023年度

学生募集要項

一般入試 (A)・(B)・(C)

共通テスト利用入試 (前期)・(前期+)・(後期)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、選抜方法等が変更になる場合があります。変更があった場合には本学ホームページにて告知いたしますので、必ずご確認ください。

- この「学生募集要項」には出願から入学手続完了までのすべての事項を記載しています。
- 上記入試区分以外の学生募集要項は別ファイルとなっています。
- この学生募集要項は2023年度入試用です。



東邦大学 理学部

目 次

■理学部

建学の精神、教育の理念	理 1 ページ
アドミッション・ポリシー	理 2
カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	理 5
理学部入試概要2023	理 6
スカラーシップ（奨学金）制度について	理 7
編入学・転入学について	理 7
早期卒業制度について	理 7
一般入試（A）・（B）	理 8
一般入試（C）	理12
共通テスト利用入試（前期・前期+）	理14
共通テスト利用入試（後期）	理17
納付金	理19

■薬学部・理学部・健康科学部共通

出願上の注意	薬・理・健 1 ページ
Web出願の流れ	薬・理・健 2
受験上の注意	薬・理・健 6
受験上の配慮および修学上の配慮希望について	薬・理・健 6
合格発表について	薬・理・健 7
合否案内の利用上の注意	薬・理・健 7
インターネットによる合否確認の方法	薬・理・健 7
個別の入学資格審査について	薬・理・健 9
習志野キャンパス試験場案内	薬・理・健10

建学の精神

「自然・生命・人間」

教育の理念

「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」

理 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

【理学部の教育目標と学びの過程】

東邦大学理学部は、建学の精神に基づき、自然・生命・人間を探究する過程を通して社会に貢献する科学人を育てることを目標としています。この目標のもと、自然科学の基礎から学際分野までの教育ができるように、理学部に化学科、生物学科、物理学科、生物分子科学科、情報科学科、生命圏環境科学科を置いています。また、自然科学や生命科学の学習を通して教員あるいは臨床検査技師として社会に貢献したいと考えている人のために、教員養成課程と臨床検査技師課程も設置しています。

科学人を目指す学びは次の通りです。

- (1) 1年次より専門科目と教養教育科目をバランスよく学びます。専門科目を基礎から先端の発展的な分野まで段階的・系統的に学ぶことで、知識・技能を習得するだけでなく科学的な探究心・思考力・批判力を身につけます。その結果として、科学人としての基盤と応用力を自分のものにすることができます。
- (2) 卒業研究を視野に入れた実験・実習および演習を重視したカリキュラムで学びます。これらの学習を通して、主体的に学ぶ力や他者と協力して課題を解決する力を伸ばすことができます。
- (3) 豊富な教養教育科目を学ぶことで、探究心・思考力・批判力を伸ばし、専門と関連する分野から科学全体を見渡せる力に高めます。また、外国語を含む読み書きの力を伸ばし、コミュニケーション能力や多様性を受け入れる態度、リーダーシップならびに社会と協調して社会に対して責任を果たす態度を身につけることができます。
- (4) 1年次より教員養成課程において、中学校および高等学校の教員になるために必要な科目を学ぶことができます。
- (5) 化学科、生物学科、生物分子科学科、生命圏環境科学科では、3年次より臨床検査技師課程に属して、臨床検査技師になるために必要な科目を学ぶことができます。

【期待する入学者像】

科学人を目指す学びのために理学部が求める入学者は、次のような資質を持つ人です。

- (1) 高等学校等において基本的な科目の内容を理解し有機的に活用できる人
- (2) 理学を学ぶうえでの基礎となる数学や理科を深く論理的に理解している人
- (3) 問題解決のために主体的・積極的に取り組むことができる人
- (4) 講義や演習、実験・実習に意欲的・積極的に取り組むことができる人
- (5) 基本的なコミュニケーション力を身につけている人

【入学試験の基本方針】

学力の三要素のうち、「知識・技能」については、専門分野の学習に必要な基礎学力を高等学校の教育課程において十分に習得していることを重視します。「思考力・判断力・表現力」については、高等学校の学習において身につけた知識を関連づけながら問題を解決する力や自分の考えを文章や数式等で表現する力を評価します。「主体性・多様性・協働性」については、コミュニケーションに必要な基礎的な力と主体的に物事に取り組む姿勢や意欲を評価します。これらの方針のもと、各学科の特性に応じて適切な方法で一般入試（A・B・C）、共通テスト利用入試（前期・前期＋・後期）、総合入試（A・B）、推薦入試（指定校制・公募制）を実施します。

化学科

【化学科の求める入学者】

化学は、原子、分子、およびその集合体に基づく物質の学問である。化学は自然科学のなかで他分野との境界領域がもっとも広がっている学問分野であり、基幹的役割を担っている。したがって、化学科では講義、演習、実験を重視したカリキュラムを組むことによって基礎力の涵養を図るとともに、さらに豊富な応用力を持つ国際的に活躍できる人材の育成を目指している。自然科学における化学の重要性を十分理解し、実験を通して新たな発見や創造を成し遂げる気概を持つ学生を求める。

【入学者選抜の基本方針】

◆一般入試（A・B・C）

(A) では、学力の三要素のうち「知識・技能」および「知識・技能を活用する思考力・表現力」に関して、化学・数学・英語の筆記試験を行い、これらの科目の基礎知識と応用力をバランスよく有している人材を選抜する。

(B) では、学力の三要素のうち「知識・技能」および「知識・技能を活用する思考力・表現力」に関して、特に化学の基礎学力と応用力に長けており、さらに化学の学修において必要である数学の基礎知識、ならびに英語力を有している人材を選抜する。

(C) では学力の三要素のうち「知識・技能」および「知識・技能を活用する思考力・表現力」に関して、特に理科の基礎学力と応用力に長けており、さらに化学の学修において必要である数学の基礎知識を有している人材を選抜する。

◆共通テスト利用入試（前期・前期＋・後期）

前期では、学力の三要素のうち「知識・技能」に関して、大学入学共通テストにおいて、化学科が指定した科目の評点に基づき、高等学校段階における基礎的な学習の達成程度が入学後の化学科の修学に必要な学力に達しているかを評価する。

前期＋および後期では、学力の三要素のうち「知識・技能」に関して、大学入学共通テストにおいて、化学科が指定した科目の評点に基づき、特に化学を重視して、高等学校段階における基礎的な学習の達成程度が入学後の化学科の修学に必要な学力に達しているかを評価する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

入学後は、化学科では豊富な講義、演習、学生実験のカリキュラムが用意されている。これらを理解するためには、化学に加えて、物理および数学を学習しておくことが望ましい。また、自然科学の世界で共通言語になっている英語の素養を十分身につけておくことは必須である。

生物学科

【生物学科の求める入学者】

「生物と生命現象を、分子レベルから地球環境までの広い視野で教育研究すること」を理念にしており、生物の多様性や様々な生命現象に強い興味を持ち、創造性豊かな科学人となる学生を求める。

【入学者選抜の基本方針】

生物学科では、一般入試（A・B・C）のほか、共通テスト利用入試（前期・前期＋・後期）、推薦入試（指定校制）、総合入試（A・B）を実施し、多様で特色のある背景を持つ人材の受け入れを目指している。生物学科の入学試験では、適性検査、教科筆記試験、大学入学共通テスト、調査書、面接等を組み合わせて、学力の三要素を含んだ志願者の能力や資質を総合的に評価する。すなわち、大学で生物学を学ぶのに必要十分な知識・技能、それらを基盤として答えがひとつに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力、これらのもとになる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ能力を評価する。

◆一般入試（A・B・C）

理科（化学、生物、物理）・数学・英語のうち複数教科の試験結果に基づき、入学後の生物学科の修学に必要な基礎知識や考え方が体系的に身につけているか（「知識・技能」）、それらに関連づけて解を導く力がどの程度養われているか（「思考力・判断力・表現力」）を主に評価する。

◆共通テスト利用入試（前期・前期＋・後期）

大学入学共通テストにおいて、生物学科が指定した科目の評点に基づき、高等学校段階における基礎的な学習の達成程度が入学後の生物学科の修学に必要な学力に達しているか（「知識・技能」）を主に評価する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

入学後は、分子生物学から生態学に至る様々な分野の教育を受けることになる。したがって、生物基礎ならびに生物の全範囲を学んでおく必要がある。また、理系教科の基礎学力だけでなく、論理的な文章を書くことができる日本語力、および自然科学の世界で共通言語になっている英語の素養を身につけておくことが重要である。

生物分子科学科

【生物分子科学科の求める入学者】

理学部の教育研究目的を価値あるものと認め、「自然・生命・人間」に対する畏敬の念を持ち、かつ、生命現象を実験や観察を通して分子レベルで理解したいという強い意欲を持つ者。学習を通じて社会の中での科学の役割を理解し、常識ある社会人として成長したいと考えている者。

【入学者選抜の基本方針】

◆一般入試（A・B・C）

教育内容に関連の深い教科に関する筆記試験で、高等学校の学習の到達度、修学に必要な知識と技能、論理的思考力、表現力が身につけているかを評価する。学力の三要素のうち「知識、技能」および「思考力・判断力・表現力等の能力」を主に評価する。

◆共通テスト利用入試（前期・前期＋・後期）

大学で学習するのに必要な基礎学力が身につけているかを測るため、指定する科目に関して、高等学校の学習の到達度を評価する。大学入学共通テストを利用する。学力の三要素のうち「知識、技能」を主に評価する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

◆知識

入学後は化学と生物学の両方を学ぶことになるので、高等学校の化学、および、生物の基礎事項を理解して、教科書の内容に沿った問題に解答できる能力を身につけていること。また、英語の教科書や文献を読んで必要な情報を得るために、基礎的な文法を充分身につけておくことが望ましい。

◆技能

学習課題を解決するために様々な情報を収集することが必要となるため、本やインターネットを用いて調べる習慣が求められる。実験や観察を通して理解したことを伝える能力、論理的なものの考え方、および、日本語で表現する能力を有することが望ましい。

◆態度

多様な文化背景や価値観を持つ人々と協働して作業できること。「自然・生命・人間」に対する畏敬の念を持ち、身につけた科学リテラシーの社会への還元を厭わない態度。社会で生きる「市民」として成長したいと願う気持ちを持ち続けることが望まれる。

物理学科

【物理学科の求める入学者】

物理学は自然界の普遍的な法則を探究する、自然科学の中で最も基礎的な学問の一つである。本学科では、物理的思考に基づいて自然の仕組みを深く理解しようとする意欲を持つとともに、自然に対する畏敬の念を抱いて科学および社会の発展に貢献できる学生を求める。

【入学者選抜の基本方針】

物理学科では、多様な入試区分で学力の三要素（①基礎的・基本的な知識・技能、②知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度）を下記のように評価している。

◆一般入試（A・B・C）

物理学科の教育内容に関連の深い教科に関する筆記試験により、高等学校での学習の到達度、大学での修学に必要な知識・技能、論理的思考力、表現力等を評価する。

学力の三要素の評価配分：①と②を主に評価する。

◆共通テスト利用入試（前期・前期十・後期）

大学入学共通テストを利用し、本学科が指定する科目に関して、高等学校での学習の到達度、大学での修学に必要な知識・技能等を評価する。

学力の三要素の評価配分：①を主に評価する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

大学で学ぶ物理学では、微積分やベクトルをはじめとする数学が重要な役割を果たすので、高校数学においてこれらの内容の習得に努めてほしい。また、大学では、「答えがひとつではない問題」や「誰も答えを知らない問題」に取り組むこともあるので、解法や公式を単に暗記するのではなく、それらの背後にある考え方や根拠を理解することにも取り組んでほしい。

情報科学科

【情報科学科の求める入学者】

情報科学科では、多種多様な情報をコンピュータで扱う方法を体系的に学ぶ。コンピュータ上での情報のふるまいを数理科学的に理解し、解析するために、その基礎となる純粋数学や応用数学を学ぶ。それとともに、コンピュータの仕組みやプログラミングの技術等を学び、メディア処理、生命情報処理、医療情報処理、データサイエンス等の応用分野へとつなげる。情報科学科のカリキュラムを通して、数理の基礎力と情報処理の応用力を兼ね備えた中学高校教員、高度な情報科学が求められる分野で活躍できる技術者の育成を目指す。本学科では、数学や情報科学に強い興味を持ち、学科の学修目標を達成し得る学力を有する学生を求める。

【入学者選抜の基本方針】

◆一般入試（A・B・C）

情報科学科の教育内容に関連の深い教科に関する筆記試験により、高等学校での学習到達度、大学での修学に必要な「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を主に評価する。学力試験の教科・科目については、学生募集要項において指定する。

◆共通テスト利用入試（前期・後期）

情報科学科での学習に必要な「知識・技能」を有しているかを評価するために、情報科学科の指定する科目について、大学入学共通テストにおける学力試験により評価する。学力試験の科目については、学生募集要項において指定する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

第一に、数学をはじめとする各科目に関して、高等学校で学んだ内容をしっかりと身につけておくことである。さらに、大学で情報科学を学ぶうえで望ましいのは、①数学的な考え方ができること、②様々なことに興味を持っていること、③「なぜ」と問う心を持っていること、である。数学は情報科学を支える基礎であり、その考え方を自在に使える必要がある。また、情報科学は様々な面で応用することによって価値が生まれる。日常のことや社会のできごとに広く興味を持つことが必要である。情報科学を何かに応用しようとするとき、その対象の原理を問うて情報科学を適用することになる。したがって、現象の裏に潜む「なぜ」に関心を持っていることが望まれる。いずれの能力も、大学入学後にさらに磨くことになるが、入学までに、数学の様々な証明を書く、様々な分野の科学啓蒙書を読む、現象の裏に潜む「なぜ」を考える、等を心がけてほしい。

生命圏環境科学科

【生命圏環境科学科の求める入学者】

本学科の理念は、「文理融合の環境科学をもとにして、様々な環境問題の解決に取り組み、持続可能な社会の構築を目指す」ことである。この理念を理解して、専門的知識・技術の習得に励み、思考力・判断力、コミュニケーション能力を涵養しながら、学科の学修目標を達成し得る入学者を求める。

【入学者選抜の基本方針】

◆一般入試（A・B・C）

本学科での学修に必要な「基礎的・基本的な知識」を有する入学者を選抜するため、学科の指定する教科・科目に関して、本学で行う筆記試験の成績により可否を判定する。複数の視点から基礎学力を判定できるようにするため、各日程で試験科目および配点が異なる。

◆共通テスト利用入試（前期・後期）

大学入学共通テストを利用して、本学科での学修に必要な「基礎的・基本的な知識」を有する入学者を全国から選抜する。前期と後期に分けて実施する。前期では、環境科学が総合科学であることを考慮し、試験科目は理数系科目に限らず文系科目も含め幅広く選択できる。後期では、理数系科目を得意とする入学者を選抜する。

【東邦大学入学までに身につけてほしいこと】

(1) 大学へのブリッジ学修

環境科学は総合科学なので、様々な分野を幅広く学んでおくことが有用である。その準備として、高校で学んだ理科の基礎知識を自分の頭で再構築し、また、地理歴史や公民等についても興味ある内容は復習し直しておくことが必要である。さらには、自ら進んで環境関連の本を読み、環境問題に対する興味と学修意欲を高めてほしい。

(2) コミュニケーション能力の涵養

環境問題を考えていくうえでは様々な意見を集約・調整していく必要があるため、コミュニケーション能力が必要不可欠である。そのために、マスメディア等を活用して、様々な情報を収集・整理する力、他の人の意見を正確に理解する力、自分の意見を分かりやすく表現する力を養う努力を積極的に行ってほしい。

(3) 自校の理解

本学の建学の精神「自然・生命・人間」が意味することを深く理解し、そのもとで学んだ成果を社会で実践していくには、自校を十分に理解しておくことが重要である。そのために、額田晋著『自然・生命・人間』を読むことを勧める。Web版は以下のホームページからダウンロード可能である：https://www.toho-u.ac.jp/corporation/policy/web_spirit.html

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東邦大学理学部は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた要件をそれぞれの学生が満たすことを目標として、教育を実施します。

教育の体系

6つの専門学科は、それぞれが定める教育課程（カリキュラム）に基づいて授業を実施します。専門学科によっては、更に異なるカリキュラムを持つ複数のコースに分かれます。それぞれのカリキュラムは、専門学科によらず共通した教養教育科目、専門学科ごとに提供する専門科目、および臨床検査技師課程・教員養成課程の提供する資格取得のための科目から構成され、講義・実験・演習・実習、卒業研究等の科目の実施によって、教育目標を達成します。

教育内容

それぞれの専門学科が定めるカリキュラム・ポリシーによって学科のカリキュラムが作成され、実施されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

自然・生命・人間の理念を達成するために行動する科学人を育む

東邦大学理学部では、建学の理念に基づき、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てます。科学人の基礎的な要件は次の点に要約されます。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
2. 主体的に学ぶ力をもつ
3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ

東邦大学理学部は、原則4年以上在学して所定の履修課程を修了し、上記の教育目標に到達したものに対して、学士（理学）の学位を授与します。

科学人の要件の詳細項目

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ

十分な知識・技能とは

専門分野における十分な基礎知識・基本技能

関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能

科学的な探究心・思考力・批判力とは

根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力

根拠を求めて、科学的な手法で実験・実証を計画・実行する能力

常に問題を科学的に分析・解釈しようとし、そのための科学的探究を試みる態度

2. 主体的に学ぶ力をもつ

主体的に学ぶ力

問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力

3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ

チーム・仲間と協働して解決する能力

コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力

問題解決のために積極的に他者と協働する態度

多様性を受け入れる態度

社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度

科学的倫理をわきまえていること

自然に対する畏敬の念、生命の尊重、人間としての謙虚な心をもつこと

理学部入試概要 2023

◆募集人員・出願期間・試験日程一覧

試験区分	募集人員	Web出願期間／書類提出期間	試験日	合格発表日	入学手続期限	
一般入試 (A)	化学科	約30名	Web出願 2022年12月12日(月)～ 2023年1月19日(木) 書類提出締切日 2023年1月20日(金)必着	2月1日(水)	2月10日(金)	2月17日(金)
	生物学科	約22名				
	生物分子科学科	約20名				
	物理学科	約18名				
	情報科学科	約20名				
	生命圏環境科学科	約18名				
一般入試 (B)	化学科	約20名	Web出願 2022年12月12日(月)～ 2023年1月19日(木) 書類提出締切日 2023年1月20日(金)必着	2月2日(木)	2月10日(金)	2月24日(金)
	生物学科	約14名				
	生物分子科学科	約15名				
	物理学科	約16名				
	情報科学科	約20名				
	生命圏環境科学科	約15名				
一般入試 (C)	6学科合計	約23名	Web出願 2022年12月12日(月)～ 2023年2月12日(日) 書類提出締切日 2023年2月13日(月)必着	2月18日(土)	2月24日(金)	3月10日(金)
共通テスト利用入試 (前期) 共通テスト利用入試 (前期+)	化学科	約5名	2022年12月12日(月)～ 2023年1月13日(金) 消印有効	個別試験なし	2月15日(水)	2月24日(金)
	生物学科	約10名				
	生物分子科学科	約12名				
	物理学科	約12名				
	情報科学科	約20名				
	生命圏環境科学科	約3名				
共通テスト利用入試 (後期)	化学科	約2名	2023年2月15日(水)～ 3月6日(月)必着	個別試験なし	3月13日(月)	3月20日(月)
	生物学科	約2名				
	生物分子科学科	約2名				
	物理学科	約2名				
	情報科学科	約3名				
	生命圏環境科学科	約3名				

◆併願について

- ・一般入試 (A) では、3学科まで出願 (併願) が可能です (同時出願の場合のみ)。
- ・一般入試 (B) では、化学科、生物学科、物理学科、情報科学科は1学科のみ出願可能です。生物分子科学科、生命圏環境科学科は両学科への出願 (併願) が可能です (同時出願の場合のみ)。
- ・一般入試 (C) では、出願時に第3志望まで学科を指定できます。
- ・共通テスト利用入試 (前期)・共通テスト利用入試 (前期+)・共通テスト利用入試 (後期) では、3学科まで出願 (併願) が可能です。
- ・推薦入試 (指定校制・公募制)、総合入試 (B) の合格者は他の入試区分への出願はできません。

◆出願書類提出先

〒270-1399 日本郵便株式会社 印西郵便局留 東邦大学習志野学事部入試広報課

出願は郵送 (簡易書留) で締切日必着 (「共通テスト利用入試 (前期)・共通テスト利用入試 (前期+)」のみ締切日の消印有効)。

◆入試に関する問い合わせ先

東邦大学習志野学事部入試広報課 電話 047-472-0666 平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00
日曜日、祝日および12月29日(木)～1月3日(火)の期間は問い合わせの受け付けを行いません。

◆試験場

東邦大学習志野キャンパス (共通テスト利用入試 (前期)・共通テスト利用入試 (前期+)・共通テスト利用入試 (後期) については、本学での個別試験は行いません)

◆出願書類一覧 (○印:要提出)

	W e b 志 願 票 (A4で印刷)	調 査 書	大学入学共通テスト 成績請求票
一般入試 (A)	○	○	
一般入試 (B)	○	○	
一般入試 (C)	○	○	
共通テスト利用入試 (前期・前期+)	○	○	○
共通テスト利用入試 (後期)	○	○	○

出願書類の詳細は、各試験区分のページでご確認ください。

スカラシップ（奨学金）制度について

スカラシップ（奨学金）制度は、一般入試（A）、一般入試（B）、共通テスト利用入試（前期／前期+）、共通テスト利用入試（後期）の成績優秀者に対して、1年次のみ最高100万円を給付する制度です。該当者には、各試験区分の合格通知書郵送時に通知します。

編入学・転入学について

定員に余裕がある場合、選考のうえ、相当年次に編入学・転入学を許可することがあります。
問い合わせ先：学事課理学部教務担当（電話 047-472-1157）

早期卒業制度について

生物学科、生物分子科学科、物理学科で実施している制度です。学科の指定する条件を満たしていれば、3年または3年半で卒業することができます。また、本学大学院理学研究科には秋季入学制度があるので、3年半で卒業後、直ちに大学院に進学し、研究を始めることができます。

- ・一般入試 (A) では、3 学科まで出願 (併願) が可能です (同時出願の場合のみ。追加の出願はできません)。
- ・一般入試 (B) では、化学科、生物学科、物理学科、情報科学科は 1 学科のみ出願可能です。生物分子科学科、生命圏環境科学科は両学科への出願 (併願) が可能です (同時出願の場合のみ。追加の出願はできません)。

1. 募集人員

	化学科	生物学科	生物分子科学科	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
一般入試 (A)	約30名	約22名	約20名	約18名	約20名	約18名
一般入試 (B)	約20名	約14名	約15名	約16名	約20名	約15名

2. 出願資格

次のいずれかの項目を満たしていること

- (1) 高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - (a) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (c) 文部科学大臣の指定した者
 - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - (e) その他、相当の年齢に達し、かつ本学において高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3. 出願手続

- (1) 出願期間：【Web出願】2022年12月12日(月)～2023年1月19日(木)
【書類提出締切日】2023年1月20日(金)必着
- (2) 出願方法：薬・理・健2～5ページの「Web出願の流れ」を参照。出願書類はすべて郵送 (簡易書留) してください。

4. 出願書類と入学検定料

- (1) 志願票 1部 (A4サイズで印刷したWeb志願票)
- (2) 調査書 1通 (学校長が作成し、厳封したもの)
 - ・卒業後5年が経過した者については、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。
 - ・高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、合格成績証明書を提出してください。
- (3) 入学検定料

A) 「一般入試 (A)」 1 学科に出願する場合	31,000円
B) 「一般入試 (B)」 1 学科に出願する場合	31,000円
C) 「一般入試 (A)」 1 学科、「一般入試 (B)」 1 学科、「一般入試 (C)」 のうち 2 日程に 同時出願する場合	51,000円
D) 「一般入試 (A)」 1 学科、「一般入試 (B)」 1 学科、「一般入試 (C)」 の 3 日程に 同時出願する場合	61,000円

※一般入試 (A・B) で 2 学科以上同時出願する場合、2 学科目以降の入学検定料は 1 学科あたり 5,000円です。

薬・理・健 2～5 ページの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

5. 選考方法

試験場：習志野キャンパス

筆記試験の成績により、合否を決定します。

一般入試 (A)

試験日：2023年2月1日 (水)

試験時間	教科	化 学 科	生 物 学 科	生物分子科学科	物 理 学 科	情報科学科	生命圏環境科学科
1 時間目 10 : 00 ～11 : 30	数学	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 100	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 100	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 100	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 100	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 150	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 100
2 時間目 13 : 00 ～14 : 10	外国語	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 150 ^{*1)}	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100
3 時間目 15 : 00 ～16 : 30	理科	化学基礎 化 学 100	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 100	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 100	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 100	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 150 ^{*1)}	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 100
合 計		300	300	300	300	300	300

一般入試 (B)

試験日：2023年2月2日 (木)

試験時間	教科	化 学 科	生 物 学 科	生物分子科学科	物 理 学 科	情報科学科	生命圏環境科学科
1 時間目 10 : 00 ～11 : 30	数学	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B (数学Ⅲも選択可能) 80	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 150 ^{*4)}	選 数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 120 ^{*2)} 択	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 150	数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 200	選 数学 I 数学 II 数学 A 数学 B 80 ^{*2)} 択
	国語			国語総合 (古文・漢文を除く) 120 ^{*2)}			国語総合 (古文・漢文を除く) 80 ^{*2)}
2 時間目 13 : 00 ～14 : 10	外国語	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 80	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 150 ^{*4)}	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 120 ^{*5)}	選 コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 150 ^{*3)} 択	選 コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 100 ^{*3)} 択	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II 英語表現 I 80
	数学				数学Ⅲ 150 ^{*3)}	数学Ⅲ 100 ^{*3)}	
3 時間目 15 : 00 ～16 : 30	理科	化学基礎 化 学 140	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 150	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 180	物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 150		物理基礎 物 理 化学基礎 化 学 生物基礎 生 物 140
合 計		300	300	300	300 ^{*6)}	300	300

注意事項

(1) 一般入試 (A)・(B) 共通

- a) 試験開始時刻の30分前までに試験室に入ってください。
- b) 数学Ⅰは「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」から出題します。数学Ⅱおよび数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。
- c) 理科の試験は「物理」、「化学」、「生物」の分野より各3問(計9問)出題します。そのうち3問を選択し解答してください。ただし、一般入試(B)の化学科では「化学」分野のみからの出題となります。
- d) 外国語の解答は、一部マークシート方式で行います。

(2) 一般入試 (A)

- a) 理科の試験では、化学科は「化学」分野の得点のみ合否判定に採用します。
- ※1) 情報科学科は、「外国語」と「理科」のうち高得点の1教科の得点を採用します。

(3) 一般入試 (B)

- a) 数学Ⅲは全範囲から出題とします。
- b) 国語は古文・漢文を除きます。
- c) 化学科の「数学」は、一部数学Ⅲの設問を選択することが可能です。
- ※2) 生物分子科学科および生命圏環境科学科の1時間目は「数学」および「国語」の問題を同時に配付します。試験問題を見たのち、いずれかの科目を選択し、解答してください。
- ※3) 物理学科および情報科学科の2時間目は「外国語」および「数学」の問題を同時に配付します。試験問題を見たのち、いずれかの科目を選択し、解答してください。
- ※4) 生物学科は、「数学」と「外国語」のうち高得点の1教科の得点を採用します。
- ※5) 生物分子科学科は、「数学または国語」と「外国語」のうち高得点の1教科の得点を採用します。
- ※6) 物理学科は、3教科のうち上位2教科の得点を採用します。

6. 合格発表

- (1) 2023年2月10日(金)と11日(土・祝)にインターネットによる合否案内を行います。詳細は薬・理・健7ページの「合否案内の利用上の注意」および薬・理・健7～8ページの「インターネットによる合否確認の方法」を参照してください。学内での掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には別途「合格通知書」と「入学手続案内」を郵送します。
- (3) 補欠者には別途「補欠通知書」を郵送します。
- (4) 入学手続状況により、補欠者の繰り上げ合格を行うことがあります。繰り上げ合格者には、通知を郵送します。繰り上げ時期によっては電話連絡することがあります。
- (5) 合否および繰り上げ状況に関する問い合わせには一切応じられません。
- (6) 出願状況および試験結果により、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

7. 入 学 手 続

- (1) 合格者は所定の入学手続期限までに、「合格通知書」に同封されている大学所定の振込用紙を用い、銀行（窓口）振込により納付金のうち入学年度の春学期分の合計額および委託徴収費を納入してください（納入期限日の出納印有効）。

〔手続期限〕一般入試（A） 2023年2月17日(金) 15:00

一般入試（B） 2023年2月24日(金) 15:00

- (2) 指定された期間内に入学手続時納付金の振込がない場合には入学を許可しません。
- (3) 入学手続時納付金の一部延納を希望する場合は、以下の手続により延納することができます（繰り上げ合格者は除きます）。

【入学手続時納付金の一部を延納する場合】

- (a) 上記(1)の〔手続期限〕までに、入学手続時納付金のうち入学金25万円を大学所定の振込用紙を使用し、銀行（窓口）振込により納入してください。
- (b) 入学金以外の納付金は、2023年3月10日(金) 15:00までに、大学所定の振込用紙を使用し、銀行（窓口）振込により完納してください。

※入学手続時納付金の一部（入学金）を納入しても、上記(b)の入学手続を完了しない場合には入学を許可しません。

- (4) 本学では授業料納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。問い合わせ方法については、理19ページを参照してください。
- (5) 入学手続の際に必要な提出書類については、全額入金確認後に郵送される「入学手続要項」をご覧ください。

8. 新型コロナウイルス感染症等に関わる入学志願者の受験機会の確保について

新型コロナウイルス感染症等に罹患し一般入試（A）・一般入試（B）を受験できなかった者は、本学部一般入試（C）を振り替えの試験とします。詳細について決定し次第、本学ホームページにてお知らせします。

1. 募集人員

理学部 6 学科合計 約23名

2. 出願資格

次のいずれかの項目を満たしていること

- (1) 高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者および2023年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年 3 月修了見込みの者
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - (a) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (c) 文部科学大臣の指定した者
 - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - (e) その他、相当の年齢に達し、かつ本学において高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3. 出願手続

- (1) 出願期間：【 W e b 出 願 】 2022年12月12日(月)～2023年 2 月12日(日)
 【書類提出締切日】 2023年 2 月13日(月)必着
- (2) 出願方法：葉・理・健 2 ～ 5 ページの「Web出願の流れ」を参照。出願書類はすべて郵送（簡易書留）してください。

4. 出願書類と入学検定料

- (1) 志 願 票 1 部 (A 4 サイズで印刷したWeb志願票)
- (2) 調 査 書 1 通 (学校長が作成し、厳封したもの)
 - ・卒業後 5 年が経過した者については、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。
 - ・高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、合格成績証明書を提出してください。
- (3) 入 学 検 定 料 一般入試 (C) では出願時に第 3 志望まで学科を指定できます。複数学科指定した場合でも、入学検定料は31,000円となります。

A) 「一般入試 (C)」のみ出願する場合	31,000円
B) 「一般入試 (A)」 1 学科、「一般入試 (B)」 1 学科、「一般入試 (C)」のうち 2 日程に同時出願する場合 (※)	51,000円
C) 「一般入試 (A)」 1 学科、「一般入試 (B)」 1 学科、「一般入試 (C)」の 3 日程に同時出願する場合 (※)	61,000円

※一般入試 (A・B) で 2 学科以上同時出願する場合、2 学科目以降の入学検定料は 1 学科あたり5,000円です。

葉・理・健 2 ～ 5 ページの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

5. 試験教科・科目

- (1) 数学 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B
- (2) 理科 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物

注意事項

- a) 数学Ⅰは「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」から出題します。数学Ⅱおよび数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。
- b) 理科の試験は物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）の3科目から出題します。そのうち1科目を選択し解答してください（科目間をまたぐ問題選択は不可）。

6. 選考方法

筆記試験の成績により、合否を決定します。ただし、全教科について中央値補正法による得点調整を行います。

試験日	試験時間			試験場
	10:30~11:30	昼 休 み	13:00~14:00	
2023年2月18日（土）	数 学		理 科	習志野キャンパス
配点（合計200点）	100		100	

※試験開始時刻の30分前までに試験室に入ってください。

7. 合格発表

- (1) 2023年2月24日(金)と25日(土)にインターネットによる合否案内を行います。詳細は薬・理・健7ページの「合否案内の利用上の注意」および薬・理・健7～8ページの「インターネットによる合否確認の方法」を参照してください。
学内での掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には別途「合格通知書」と「入学手続案内」を郵送します。
- (3) 補欠者には別途「補欠通知書」を郵送します。
- (4) 入学手続状況により、補欠者の繰り上げ合格を行うことがあります。
繰り上げ合格者には、通知を郵送します。
繰り上げ時期によっては電話連絡することがあります。
- (5) 合否および繰り上げ状況に関する問い合わせには一切応じられません。
- (6) 出願状況および試験結果により、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

8. 入学手続

- (1) 合格者は所定の入学手続期限までに、「合格通知書」に同封されている大学所定の振込用紙を用い、銀行（窓口）振込により納付金のうち入学年度の春学期分の合計額および委託徴収費を納入してください（納入期限日の出納印有効）。
〔手続期限〕一般入試（C） 2023年3月10日(金) 15:00
- (2) 指定された期間内に入学手続時納付金の振込がない場合には入学を許可しません。
- (3) 本学では授業料納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。問い合わせ方法については、理19ページを参照してください。
- (4) 入学手続の際に必要な提出書類については、入金確認後に郵送される「入学手続要項」をご覧ください。

9. 新型コロナウイルス感染症等に関わる入学志願者の受験機会の確保について

新型コロナウイルス感染症等に罹患し一般入試（C）を受験できなかった者は、本学部共通テスト利用入試（後期）を振り替えの試験とします。詳細について決定し次第、本学ホームページにてお知らせします。

「共通テスト利用入試（前期）・共通テスト利用入試（前期+）」は、大学入学共通テストを利用して行う入学試験で、本学部での個別試験は行いません。また、3学科まで出願（併願）が可能です。

1. 募集人員

化学科 約5名* 生物学科 約10名* 生物分子科学科 約12名*

物理学科 約12名* 情報科学科 約20名 生命圏環境科学科 約3名

*共通テスト利用入試（前期）および共通テスト利用入試（前期+）の合計人数

2. 出願資格

2023年1月14日(土)・15日(日)に行われる大学入学共通テストにおいて、各学科指定の教科・科目（理15ページ〔指定科目および配点〕参照）を受験する者

3. 出願手続

- 出願期間：2022年12月12日(月)から2023年1月13日(金)まで（締切日消印有効）
- 出願方法：薬・理・健2～5ページの「Web出願の流れ」を参照。出願書類はすべて郵送（簡易書留）してください。

4. 出願書類と入学検定料

- 志願票 1部（A4サイズで印刷したWeb志願票）
- 調査書 1通（学校長が作成し、厳封したもの）
 - 卒業後5年が経過した者については、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。
 - 高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、合格成績証明書を提出してください。
- 大学入学共通テスト成績請求票 1枚（Web志願票の所定欄に「私立大学・公私立短期大学用」を貼付）
- 入学検定料 共通テスト利用入試（前期）：出願学科数×11,000円
共通テスト利用入試（前期+）：出願学科数×2,000円
薬・理・健2～5ページの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

5. 共通テスト利用入試（前期^{プラス}）について（化学科・生物学科・生物分子科学科・物理学科で実施）

共通テスト利用入試（前期）で出願する学科を、異なる科目・配点で受験することができる制度です。共通テスト利用入試（前期+）の出願は、同一学科の共通テスト利用入試（前期）との同時出願に限りますので、共通テスト利用入試（前期+）のみの出願はできず、追加の出願もできません。受験番号は共通テスト利用入試（前期）と共通テスト利用入試（前期+）それぞれの番号が付与されます。

6. 選考方法

大学入学共通テストの成績の合計により、合否を決定します。

〔指定科目および配点〕

学科	科 目		配点	合計	
化 学 科	1	「化学」	200点	600点	
	2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	200点		
	3	「英語」*2	200点		
	前期 ^{プラス} +	1	「化学」	300点	600点
		2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	150点	
		3	「英語」*2	150点	
生 物 学 科	1	「生物」	200点	600点	
	2*1	「基礎を付した理科2科目」*3、「物理」、「化学」、「地学」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	200点		
	3	「英語」*2	200点		
	前期 ^{プラス} +	1*1	「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択	300点	600点
		2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「英語」*2から1科目選択	300点	
	生 物 分 子 学 科	1*1	「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択	400点	600点
2*1		「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「英語」*2、「国語」*4から1科目選択	200点		
前期 ^{プラス} +		1*1	「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択	200点	600点
		2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「国語」*4から1科目選択	200点	
		3	「英語」*2	200点	
物 理 学 科		1	「数学Ⅰ・数学A」	200点	600点
	2	「数学Ⅱ・数学B」	200点		
	3*1	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「英語」*2から1科目選択	200点		
	前期 ^{プラス} +	1	「数学Ⅱ・数学B」	300点	600点
		2	「物理」	300点	
情 報 科 学 科	右記4科目から高得点の2科目を採用	1*1	「基礎を付した理科2科目」*3、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択	300点	600点
		2	「数学Ⅰ・数学A」	300点	
		3	「数学Ⅱ・数学B」	300点	
		4	「英語」*2	300点	
生 命 圏 環 境 科 学 科	1*1	「基礎を付した理科2科目」*3、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択	200点	600点	
	2	「英語」*2	200点		
	3*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「国語」*4、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」、「倫理」、「政治・経済」から1科目選択	200点		

※大学入学共通テストの配点（満点）と異なる場合、換算してその配点（満点）とします。

〔大学入学共通テストの配点〕

各100点（英語は、リーディング100点、リスニング100点）（理科の「基礎を付した科目」は2科目で100点）

注意事項

- * 1) 複数科目受験した場合は最高得点の1科目を採用
- * 2) 英語は、リスニングを受験した場合（未受験でも出願可）には、リーディングとリスニングの合計点と、リーディングを2倍した点のうち得点が高い方を採用
- * 3) 理科の「基礎を付した科目」は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうち2科目を選択解答すること
- * 4) 古典（古文・漢文）を含まない近代以降の文章とする

7. 合格発表

- (1) 2023年2月15日(水)と16日(木)にインターネットによる合否案内を行います。詳細は薬・理・健7ページの「合否案内の利用上の注意」および薬・理・健7～8ページの「インターネットによる合否確認の方法」を参照してください。
学内での掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には別途「合格通知書」と「入学手続案内」を郵送します。
- (3) 補欠者には別途「補欠通知書」を郵送します。
- (4) 入学手続状況により、補欠者の繰り上げ合格を行うことがあります。
繰り上げ合格者には、通知を郵送します。
繰り上げ時期によっては電話連絡することがあります。
- (5) 合否および繰り上げ状況に関する問い合わせには一切応じられません。
- (6) 出願状況および試験結果により、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

8. 入学手続

- (1) 合格者は2023年2月24日(金) 15:00までに、「合格通知書」に同封されている**大学所定の振込用紙**を用い、**銀行（窓口）振込により納付金のうち入学年度の春学期分の合計額および委託徴収費を納入してください**（納入期限日の出納印有効）。
- (2) 指定された期間内に入学手続時納付金の振込がない場合には入学を許可しません。
- (3) 入学手続時納付金の一部延納を希望する場合は、以下の手続により延納することができます（繰り上げ合格者は除きます）。

【入学手続時納付金の一部を延納する場合】

- (a) 2023年2月24日(金) 15:00までに、入学手続時納付金のうち入学金25万円を大学所定の振込用紙を使用し、銀行（窓口）振込により納入してください。
- (b) 入学金以外の納付金は、2023年3月10日(金) 15:00までに、大学所定の振込用紙を使用し、銀行（窓口）振込により完納してください。
- (c) 入学手続時納付金の一部（入学金）を納入しても、上記(b)の入学手続を完了しない場合には入学を許可しません。
- (4) 本学では授業料納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。問い合わせ方法については、理19ページを参照してください。
- (5) 入学手続の際に必要な提出書類については、全額入金確認後に郵送される「入学手続要項」をご覧ください。

「共通テスト利用入試（後期）」は、大学入学共通テストを利用して行う入学試験で、本学部での個別試験は行いません。また、3学科まで出願（併願）が可能です。

1. 募集人員

化学科	約2名	生物学科	約2名	生物分子科学科	約2名
物理学科	約2名	情報科学科	約3名	生命圏環境科学科	約3名

2. 出願資格

2023年1月14日(土)・15日(日)実施の大学入学共通テストにおいて、各学科指定の教科・科目（理18ページ〔指定科目および配点〕参照）を受験した者

3. 出願手続

- (1) 出願期間：2023年2月15日(水)から3月6日(月)まで（締切日必着）
- (2) 出願方法：葉・理・健2～5ページの「Web出願の流れ」を参照。出願書類はすべて郵送（簡易書留）してください。

4. 出願書類と入学検定料

- (1) 志願票 1部（A4サイズで印刷したWeb志願票）
- (2) 調査書 1通（学校長が作成し、厳封したもの）
 - ・卒業後5年が経過した者については、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。
 - ・高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、合格成績証明書を提出してください。
- (3) 大学入学共通テスト成績請求票 1枚（Web志願票の所定欄に「私立大学・公私立短期大学用」を貼付）
- (4) 入学検定料 出願学科数×11,000円
葉・理・健2～5ページの「Web出願の流れ」に従って支払いを完了してください。

5. 選考方法

大学入学共通テストの成績の合計により、合否を決定します。

〔指定科目および配点〕

学科	科 目		配点	合計	
化 学 科	1	「化学」	300点	600点	
	2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	150点		
	3	「英語」*2	150点		
生 物 学 科	1*1	「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択	300点	600点	
	2*1	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「英語」*2から1科目選択	300点		
生 物 分 子 学 科	1*1	「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択	300点	600点	
	2	「英語」*2	300点		
物 理 学 科	右記5科目から高得点の2科目を採用	1	「物理」	300点	600点
		2	「化学」	300点	
		3	「物理基礎」および「化学基礎」	300点	
		4	「数学Ⅰ・数学A」	300点	
		5	「数学Ⅱ・数学B」	300点	
情報科学科	1	「数学Ⅰ・数学A」	300点	600点	
	2	「数学Ⅱ・数学B」	300点		
生 命 圏 環 境 学 科	右記6科目から高得点の2科目を採用	1	「物理」	300点	600点
		2	「化学」	300点	
		3	「生物」	300点	
		4	「地学」	300点	
		5	「数学Ⅰ・数学A」	300点	
		6	「数学Ⅱ・数学B」	300点	

※大学入学共通テストの配点（満点）と異なる場合、換算してその配点（満点）とします。

〔大学入学共通テストの配点〕

各100点（英語は、リーディング100点、リスニング100点）（理科の「基礎を付した科目」は2科目で100点）

注意事項

- * 1) 複数科目受験した場合は最高得点の1科目を採用
- * 2) 英語は、リスニングを受験した場合（未受験でも出願可）には、リーディングとリスニングの合計点と、リーディングを2倍した点のうち得点が高い方を採用

6. 合格発表

- (1) 2023年3月13日(月)と3月14日(火)にインターネットによる合否案内を行います。詳細は葉・理・健7ページの「合否案内の利用上の注意」および葉・理・健7～8ページの「インターネットによる合否確認の方法」を参照してください。学内での掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には別途「合格通知書」、「入学手続案内」および「入学手続要項」を郵送します。
- (3) 補欠者には別途「補欠通知書」を郵送します。
- (4) 入学手続状況により、補欠者の繰り上げ合格を行うことがあります。
繰り上げ合格者には、通知を郵送します。
繰り上げ時期によっては電話連絡することがあります。
- (5) 合否および繰り上げ状況に関する問い合わせには一切応じられません。
- (6) 出願状況および試験結果により、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

7. 入学手続

- (1) 合格者は2023年3月20日(月) 15:00までに、「合格通知書」に同封されている大学所定の振込用紙を用い、銀行（窓口）振込により納付金のうち入学年度の春学期分の合計額および委託徴収費を納入してください（納入期限日の出納印有効）。
- (2) 指定された期間内に入学手続時納付金の振込がない場合には入学を許可しません。
- (3) 本学では授業料納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。問い合わせ方法については、理19ページを参照してください。

◎入学金、授業料等

項 目	入 学 年 度		備 考
	春学期分（入学手続時）	秋学期分	
入 学 金	250,000円	—	入学年度のみ
授 業 料	531,000円	531,000円	年2期に分けて納入
理学教育充実費	160,000円	160,000円	年2期に分けて納入（2年次以降は春学期・秋学期各250,000円）
合 計	941,000円	691,000円	

◎委託徴収費（入学手続時に一括納入していただきます）

64,660円	内訳：学生教育研究災害傷害保険料・賠償責任保険料 4,660円、青藍会（父母会）費 20,000円*1、学生自治会費 30,000円、鶴風会（同窓会）費 10,000円*2
---------	--

※1 2年次以降10,000円ずつ納入。

※2 在学期間（準会員）および卒業後の終身会費（40,000円）を4年間で分割し、毎年納入していただきます。

◎2年次以降の納入金は授業料、理学教育充実費、青藍会費および鶴風会費のみです。

その他の実験・実習費（野外実習費は除く）は一切徴収しません。

- (1) 「一般入試（A）」、「一般入試（B）」および「共通テスト利用入試（前期／前期＋）」の正規合格者は、入学金以外の納付金を延納することができます（但し、繰り上げ合格者は除きます）。詳細は理11ページ、理16ページの【入学手続時納付金の一部を延納する場合】を確認してください。
- (2) 試験区分（以下「区分」という）の異なる2つ以上の入学試験に合格し、先に合格した区分の入学手続（納付金納入）をしたあとに、他の区分で入学を希望する場合は、申し出により、納入済みの納付金を入学する区分に振り替えることができます。
- (3) 入学手続（納付金納入）後、入学を辞退する場合は、2023年3月31日（金）15:00までに申し出た者に限り、入学金を除いた納付金の全額を返還します。
上記期限までに申し出のない場合は委託徴収費のみ返還し、それ以外の納付金は一切返還しません。
- (4) スカラシップ（奨学金）制度
理7ページの「スカラシップ（奨学金）制度について」を参照してください。
- (5) 理学部鶴風会（同窓会）入学時奨学金
本学理学部卒業生の子女・子弟または在学生の兄弟姉妹の者を対象に入学金相当額を給付します。
- (6) 特待生制度
各学科2年、3年、4年次の学生のうち、前年度の学業成績の上位者を特待生とし、それぞれ当該年度に納めるべき授業料のうち、全額または半額を免除します。
- (7) 奨学金制度（詳細は学事課学生生活担当（電話 047-472-9335）に照会してください）
日本学生支援機構奨学金、東邦大学青藍会（父母会）奨学金、東邦大学理学部鶴風会（同窓会）奨学金、地方自治体奨学金などがあります。入学後に説明会などを行います。
- (8) 学費ローン
本学では授業料等の納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。
ご利用を検討されている方は、(株)ジャックス コンシューマードeskまで早めに問い合わせてください。
0120-338-817（フリーダイヤル）（受付時間／10:00～19:00）
※学費ローンを利用された場合でも、各試験区分の手続期限日は厳守となりますのでご注意ください。